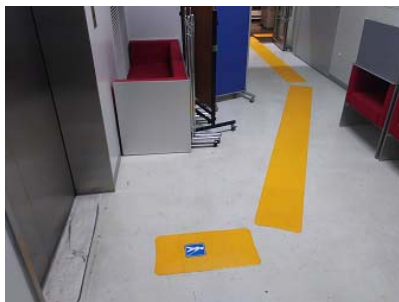


《3年連続》 ラジオ・チャリティ・ミュージックソンに 凹凸の無い視覚障がい者誘導ソフトマットを設置



写真① イマジン・スタジオまでの誘導



写真② チャリティ会場までの誘導

平成 29 年 12 月 24 日（日）正午から 12 月 25 日（月）正午まで、ニッポン放送（東京都千代田区有楽町 1-9-3）を始め、全国 11 局にて「第 43 回 ラジオ・チャリティ・ミュージックソン」の 24 時間生放送が実施されます。

錦城護謨株式会社（本社：大阪府八尾市、代表取締役社長：太田泰造）は、メイン会場となる、ニッポン放送の地下 2 階エレベータ前からイマジン・スタジオまでの約 20m に、視覚障がい者歩行誘導ソフトマット「歩導くん ガイドウェイ」を無償で設置・提供いたします。今年で 3 年目となります。

視覚障がいの方が多く参加されるため誘導路として設置したことが始まりとなり、昨年には、ニッポン放送だけではなく、大阪でも商店街の入口からチャリティ会場まで誘導路を設置しました。本年はイマジン・スタジオまでの誘導に加えて、1 階ロビーにも設置を行います。

過去の放送でパーソナリティや出演者からのコメントとして「歩導くんがあることで、自分が歩いている道が確かな一歩になる。前に踏み出せる感じがある」「認識出来る位の膨らみで本当に良い」「車いすの皆さんのこともちゃんと思って作られているのが本当に素晴らしい」などと好評を頂いております。

■視覚障がい者歩行誘導ソフトマット概要

いわゆる誘導ブロックの代替品として視覚障がい者が考案し、視覚障がい者団体協力のもと開発されたものです。全ての人の利便性に配慮した「ユニバーサルデザイン」の考えをベースにしています。白杖で叩いた時の音の違いや、足裏に伝わる質感の違いによって誘導路の位置、向きを認識できるゴム製の屋内専用マットです。

表面の凹凸や段差がなく、中央部に向かって緩やかな傾斜となっているので、高齢者や幼児がつまずいたり、ベビーカーや車いすの車輪が引っかかりを防ぎます。そのため、空港、銀行 ATM、病院などでの導入も進んでいます。

床や路面への設置は両面テープを使用するため、大掛かりな設置工事は不要。取り外しも容易なので、催事などで一時的に設置もできます。今回はこの仮設形式での設置を行います。

2016 年 2 月に、ドイツ「iF デザインアワード」の金賞を受賞。同アワードは全世界から優れたデザインを選定するもので、「プロダクト部門・公共デザインカテゴリー」で日本初の金賞を受賞しました。



■ラジオ・チャリティ・ミュージックソン概要

ラジオ・チャリティ・ミュージックソンは、目の不自由な方たちが、「安心して街を歩けるように」ということを目指し、『音の出る信号機』や、目の不自由な方の社会参加につながるアイテムの一つでも増やすための基金を募るチャリティ・キャンペーン。この企画は 1975（昭和 50）年、音楽の力とラジオの力で何か社会に貢献できることをしたい、という想いからスタート。現在では募金だけでなく、目の不自由な方を中心に、体の不自由な方々への理解の促進と思いやりの気持ちを育むことをも目指している。※「ミュージックソン」とは、「ミュージック」と「マラソン」をあわせた造語。

■お問合せ先

製品：錦城護謨株式会社 ホドウクン担当 TEL：072-992-2328/FAX：072-922-4175